

日本僑報

日中関係・華僑華人情報専門紙

総第 63号 発行 / 日本僑報社 定価 / 300 円
〒 333-0866 川口市芝 5-6-6 TEL048-432-7332 FAX432-7335
http://duan.jp duan@duan.jp 編集長/段 躍中

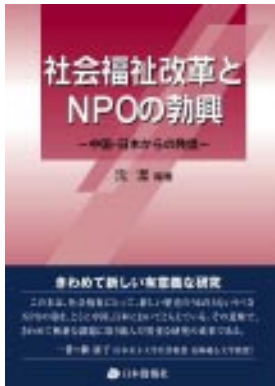


鬼子又来了
中国の若者が見た
元日本兵・謝罪の旅

きわめて新しい有意義な研究

- 『社会福祉改革とNPOの勃興』刊行に寄せて

一番ヶ瀬康子 日本女子大学名誉教授・長崎純心大学教授



社会福祉改革とNPOの勃興 (沈潔編著)

なったことが、NPOという形態で、身近な相互扶助を促したものだといえよう。一方、中国における市場経済の発展、日本における市場経済の成熟のなかで、社会福祉をそのなかにゆだねようとする動向がある。しかし市場経済では、真の社会福祉は展開できない。あるいは市場経済では、それぞれの人権に応じた福祉サービスは生まれにくい。そのこととの関連が、NPOの存在を生み出したのであろう。しかも福祉サービスそのものが、ボランティアな活動から様々な工夫が生まれてくると考えれば、NPOのあり方は、今後の社会福祉の発

展にとって重要なものといえる。それらの意味において、この研究が、これからの社会福祉のあり方へ、しかも日本、中国それぞれアジア社会に根ざした伝統的な福祉理念に、NPOがどう影響するか、その積極的な意味を含めて、この研究の提起したことは、今後重要な役割をなすと思われる。

いずれにしてもユニークな課題に、しかもきわめて新しい視点で積極的に取り組んで、大きな示唆を私たちに与えてくれる貴重な研究である。この本が、是非多くの人に読まれ、さらに新たな研究と実践が生まれることを期待したい。

この本は、社会福祉にとって、新しい歴史のうねりともいべきNPOの姿を、とくに中国、日本においてとらえている。その意味で、きわめて斬新な課題に取り組んだ貴重な研究の成果である。

とくに中国と日本は、社会体制が異なる。資本主義が高度に発達している日本と、社会主義体制のなかで、資本主義化を試みている中国において、NPOがどのような意味をもち、なぜ今日の興隆を生み出したかということについて検討することは、歴史的な課題としても意義深い。また具体的なこれからの社会のあり方を省察する意味においても、きわめて有効であり、貴重であるといえよう。

中国、日本ともに共通の現象は、少子高齢化のなかで、従来の社会福祉では対応できない時代に



15回に上る中国謝罪の旅を読む / 段躍中撮影

2000年の8月15日から、連続三年、日中戦争に関連する凶書を発行してきた日本僑報出版社で、4回目の関連出版物を発行する運びになりました。今年の刊行物は、中国人若手記者が、元日本兵塩谷保芳氏の15回に上る中国謝罪の旅を記録した『鬼子又来了』です。この本は、82歳になる塩谷氏の生の証言を日中両国語で記録したものです。 段躍中撮影報道